

# 統 括 本 部 報 告

## 地域本部長会議報告(能登本部長)

### 平成 29 年度 第 1 回地域本部長会議

日 時：平成 29 年 6 月 14 日(水)  
13:00～16:45

場 所：名鉄犬山ホテル 2F「金扇 東」会議室  
(愛知県犬山市犬山北古券 107-1)

出 席 者：(統括本部)吉田会長、高木副会長、橋場副会長、佐竹副会長、奈良専務理事、西村常務理事、宮崎常務理事、(地域本部長)能登(北海道)、吉川(東北)、大谷(北陸)、渡邊(中部)、北村(近畿)、大田(中国)、武山(四国)、甲斐(九州)

議 長：渡邊中部本部長  
書 記：水野中部本部事務局長

#### 【議事】

#### 1. 統括本部報告および質疑【主要議題】

- (1)平成 28 年度事業報告及び収支決算
- (2)平成 29 年度事業計画及び収支予算
- (3)平成 29 年度技術士第二次試験の受験申込状況
- (4)科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会について
- (5)「技術士制度改革について(提言)―中間報告―」について
  - ・各項目について、それぞれ資料に基づき事務局から報告があった。

#### 2. 地域本部報告【審議事項】

- ・特になし

#### 3. 地域本部報告【意見・要望】

- (1)日本技術士会役員選挙における「一票の重みの格差」について、今後も現行のルールを続けるのか(近畿本部)。
  - 過去の理事会でも議論したが、19 部会や 8 地域本部からなる制度であるので、今後も現行のルールを続ける。
- (2)WEB システムを事務所に設置しており、WEB 講演会は小人数しか参加できないのが課題であ

る(北陸本部)。

→現在の WEB システムは会議用である。機械振興会館に移動した場合、WEB 講演会用にはスカイプなどのシステムによることを検討することになる。

(3)試験に関し統括本部からの各本部への職員の派遣の復活はできないか(北陸本部)。

→試験実施時の統括本部からの各本部への現地対応は、人手不足で困難な状況である。

(4)事務局長会議の実施は、今後も継続してほしい(北陸本部)。

→事務局長会議は、本年も秋頃を目途に開催を検討したい。

(5)第二次試験合格者祝賀会を 4 県で開催したが、合格者の参加が少なく、費用対効果が小さい(中国本部)。

→合格者に出す郵便の中に効果的な文書を入れるよう検討をお願いしたい。

## 理事会報告(森理事)

### 平成 29 年度 第 1 回理事会

日 時：平成 29 年 5 月 10 日(水)  
13:00～17:00

場 所：萱手第二ビル 5 階会議室  
議題(主なもの)

#### 【審議事項】

#### 1. 平成 28 年度事業報告及び収支決算について

久下企画委員長から説明があり、審議の結果、一部文言修正箇所を除き、原案通り承認された。

#### 2. 第 59 回定時総会の開催日時及び役員選任、その他の議題等について

吉田会長より説明があり、審議の結果、原案通り承認された。新役員の任期は、定時総会(6/20)終了後からスタートすることになる。

### 3. 平成 29 年度新名誉会員、フェロー認定、会長表彰者について

高木総務委員長より説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

- ・名誉会員：6 名
- ・フェロー認定者：3 名→現在合計 48 名
- ・会長表彰者：103 名

### 4. 技術士制度検討委員会検討報告について

奈良専務理事並びに山口検討委員長より説明があり、審議の結果、一部文章修正箇所を除き、原案通り了承された。課題は以下の 4 点に絞っている。

- ・課題 1：更新制度の導入
- ・課題 2：技術士補の在り方と IPD 支援方策
- ・課題 3：技術士資格の国際的通用性
- ・課題 4：他の国家資格との相互活用

※後の 6 月 1 日に「技術士制度改革について(提言)」(中間報告)をまとめ、文科省に提示した。報告書は本会 HP に掲載されている。

### 5. 本会の組織、役職名等の英文表記に関する規則の制定について

小林国際委員長より説明があり、審議の結果、原案通り了承された。

### 6. 男女共同参画推進に関わる委員会の設置・運営規則の変更について

石田男女共同参画推進委員長より説明があり、審議の結果、原案通り了承された。主な変更点は以下の通り。

- ・委員定数を 15 名以内から 25 名以内とする。
- ・設置・委員委嘱に理事会の承認が必要な WG を廃止する。
- ・WG に替わり、新たに委員補佐制度を導入する(委員定数とは別に定員 15 名以内)。

### 7. 地域組織の設置運営に関する規則の変更について

高木総務委員長より説明があり、審議の結果、原案通り了承された。これは地域本部と相似的な形での支部における特別役職(特別顧問、顧問、参与)の設置の規定を新たに追加したものである。

### 8. 会員の入会等について

事務局より説明があり、原案通り承認された。平成 29 年 3 月末現在では、正会員 14,739 名、

準会員 3,591 名、賛助会員 154 社となっている。

## 【報告事項】

### 1. 平成 29 年度役員候補者選出選挙等結果について

事務局より候補者別の得票数、並びに全体の有権者数と得票数について報告があった。

- ・WEB 投票申込者：1,679 名、投票用紙送付者：13,057 名
- ・理事の有効得票：7,991 (54.2%)

### 2. 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について

平成 29 年 4 月 14 日に開催された第 37 回技術士分科会について奈良専務理事より報告があった。

第 9 期の技術士分科会は、下記の 3 つの下部組織からなる組織構成となった。

- ・試験部会、制度検討特別委員会、APEC エンジニア特別委員会。

### 3. 防災会議(平成 28 年熊本地震災害)の活動終了について

上野防災支援委員長より報告があった。平成 28 年 4 月の熊本地震発生を受けて本会に防災会議を設置し、活動を行ってきたが、報告書の完成及び活動経費の精算等をもって、平成 29 年 3 月 31 日で防災会議の活動を終了した。

### 4. 技術士 CPD 定期審査実施報告について

宮元理事(研修委員会副委員長)より報告があった。直近 3 年度(2013 年 4 月～2016 年 3 月)の CPD 記録について、審査対象者 64 名(CPD 認定会員 635 名から 10%程度の無策抽出)に対する審査結果(個人別総合判定)は以下の通り。

- ・[○]：35 名(54.7%)、[△]：22 名(34.4%)、[不適]：7 名(10.9%)

※[不適]7 名の内、5 名は申請内容不適

### 5. 技術士業務報酬に関する調査結果について

橋場社会委員長より第 2 回目の技術士報酬アンケートの結果報告があった。

- ①回答者数：250 人、②全有効案件数：445 件、③全有効業務件数(重複あり)：792 件。

なお、本調査データの取り扱いにおける注意事

項等を考慮し、アンケート結果は現時点で未だ非公開である。公開の仕方、公開の内容等について検討中である。

## 6. 常設委員会等報告について

主なものを以下に列記する。

### 6-1. 倫理委員会

本間委員長より活動報告があった。

#### (1) 第 9 回技術者倫理シンポジウム

聴講申込が現時点で約 120 名で順調である。アンケートに参加の動機確認の項目追加を検討中。

#### (2) 第 5 回技術者倫理ワークショップ

第 44 回技術士全国大会(山口)では第 3 分科会(倫理)として開催することになり、中国本部の HP で論文募集を開始している。

### 6-2. 総務委員会

高木委員長より活動報告があった。

#### (1) 千葉県支部と千葉市危機管理課で進めている災害復興協定内容について審議を行った。

#### (2) 来期総務委員会への申し送り事項

- ・ 部会長候補者選出選挙に係わる詳細事項の検討及び手引きの制定。
- ・ 緩やかな連携の推進。
- ・ 長期在会会員に対する顕彰制度、又は、高齢化委員等に向けた年会費減免制度の検討。

### 6-3. 企画委員会

久下委員長より活動報告があった。

- ・ 2 年間の活動をまとめた活動報告書を作成し、引き継ぎ事項等を検討した。
- ・ 財政レポート 2017(案)をまとめた。

### 6-4. 研修委員会

西村委員長より活動報告があった。

- ・ 平成 28 年度の CPD 登録証明書の発行件数は 814 件(H27 は 755 件)。CPD 認定会員は、3 月末で 610 名。
- ・ 修習技術者ガイドブック(第 3 版)に沿った修習技術者向けのパンフレットの PPT 版が完成。
- ・ 平成 28 年度技術士 CPD プログラムの申請状況：108 件(昨年度は 69 件)。

### 6-5. 広報委員会

柴田委員長より活動報告があった。月刊『技術士』8月号から新体制での活動となる。

#### (1) 特別企画について

- ・ 平成 29 年度 7 月号特別企画として青年座談会の原稿、「活躍する青年技術士」(10 編)を編集作業中。

#### (2) 今後の予定について

- ・ 月刊『技術士』の効果的な寄贈方法の検討。
- ・ 試験情報の効果的な流布方法の検討を進める。
- ・ 月刊『技術士』投稿の手引き、執筆要領の修正検討。

### 6-6. 社会委員会

橋場委員長より活動報告があった。

- ・ 司法小委員会：平成 29 年度に第 2 回司法支援講習会を企画中。
- ・ 事例発表会グループ：「第 7 回社会活動事例発表会」(H29.2.25)のアンケート結果をまとめ、次年度の開催方針に着手。

#### (1) 防災支援委員会(実行委員会)

- ・ 熊本地震災害防災会議は、平成 29 年 3 月 31 日をもって活動を終了した。
- ・ 防災支援委員会災害支援計画(BCP)の改訂に着手。

#### (2) 科学技術振興支援委員会(実行委員会)

- ・ 理科教室等支援活動を継続中(12 月末現在、48 件)。
- ・ 科学技術週間(H29.4.17 ~ 23)におけるサイエンスカフェの講師に技術士 3 名が参加した。
- ・ サイエンスアゴラ 2017(JST)(H29.11.24 ~ 26)の参加申込に着手した。

#### (3) 技術士活性化委員会(実行委員会)

- ・ 外部からの技術士業務紹介依頼に継続対応中。
- ・ 技術支援基礎講座、知的資産経営 WEEK セミナー、第 36 回技術士開業研修会を企画中。
- ・ 技術士報酬調査(アンケート)が終了し、調査結果を作成した。

#### (4) 工事監査支援 WG(実行委員会)

- ・ H28 年度自治体工事監査委託状況(3 月 28 日現在：20 自治体、26 案件)。
- ・ 工事監査マニュアルの改訂版を製作し、関係諸機関に配布した。

### 6-7. 国際委員会

小林委員長より活動報告があった。

- ・ 本会の英文パンフレットを更新した(「英文パン

フレット 2017 年版)。

- ・月刊『技術士』において“世界への扉”シリーズのコーナーを新設する。
- ・シンガポールの APEC エンジニア及び IPEA 国際エンジニアのレビューアが、韓国(リーダー)、及びメンバーとして日本とロシアに決定した。
- ・英国機械技術者協会 (IMechE) から、本会がエリザベス女王工学賞の候補者を推薦する機関となることについて、英国大使館から打診があった旨連絡があった。

#### (1) 日韓技術士交流委員会(実行委員会)

- ・平成 29 年 4 月 7 日、韓国釜山にて、第 47 回日韓技術士国際会議の日韓合同委員会を開催した。

#### (2) 海外活動支援委員会(実行委員会)

- ・平成 29 年 3 月 27 ~ 30 日、中国江蘇省塩城(えんじょう)市の企業を訪問。
- ・平成 29 年 4 月 12 ~ 16 日、中国浙江省紹興(しょうこう)市・広東省深圳(しんせん)市で開催の世界専門家大会に参加した。

#### 6-8. 男女共同参画推進委員会

石田委員長より活動報告があった。

##### (1) 女子学生支援

- ・平成 29 年 3 月 18 日：第 33 回技術サロンを開催した。参加者 8 名(社会人 4 名、学生 4 名)。千葉工大小浦研究室の学生 4 名が参加した。

##### (2) ジェンダーサミット 10(5 月 25 ~ 26 日)への参加準備

- ・国際委員会の協力を得て、当委員会から 3 名が参加し、技術士の国際的意義、技術士会の紹介、当委員会および理工系女子学生・若手技術者支援等の活動をポスター発表する。

##### (3) 技術サロン報告書

- ・「Q & A」[技術サロンへの想い]を充実・追加して、第 2 版を発行する(6 月 1 日発行予定)。

##### (4) 今後の予定

- ・月刊『技術士』の「男女共同参画シリーズ その 2」を 2 月 ~ 10 月号に隔月で掲載予定。
- ・平成 29 年 6 月 17 日：第 34 回技術サロン。
- ・出前サロンの展開(継続)
- ・継続的広報活動の拡大(継続)。

#### 6-9. 技術士制度検討委員会

山口委員長より活動報告があった。

報告書のタイトルは「技術士制度改革について(提言)」とし、構成は次の通りとした。

##### 1. はじめに

##### 2. 個別課題の現状と今後の方向性

- ・課題 1：更新制度の導入
- ・課題 2：技術士補の在り方と IPD 支援方策
- ・課題 3：技術士資格の国際的適用性
- ・課題 4：他の国家資格との相互活用

##### 3. おわりに

別添資料 1：更新制度のある主な資格

別添資料 2：技術士資格の公的活用

別添資料 3：他の公的資格取得上の免除等

別添資料 4：技術士資格の活用に関する要望一覧

## 理事会報告(大熊理事)

### 平成 29 年度 臨時理事会

日 時：平成 29 年 6 月 20 日(火)  
16:50 ~ 17:10

場 所：大手町サンケイプラザ 2 階 201 号室  
議題(主なもの)

#### 【審議事項】

##### 1. 会長の選任について

出席全理事の賛成により高木茂知理事が会長に選任された。

##### 2. 副会長の選任について

高木茂知会長から、副会長による会長職務の代理順位順に副会長として①中川裕康、②岩熊まき、③伊藤徹の 3 理事を選定する旨の説明があり、審議のうえ出席全理事の賛成により原案どおり承認された。

#### 【報告事項】

##### 1. 常設委員会委員長の委嘱について

高木茂知会長から、倫理委員会委員長を桑江良明、総務委員会委員長を笠原弘之、企画委員会委員長を岩熊まき、研修委員会委員長を宮元均、広報委員会委員長を掛川昌俊、社会委員会委員長を内田勉、国際委員会委員長を坂井剛太郎の各理事

に委嘱したことが報告された。

**平成 29 年度 第 2 回理事会**

日 時：平成 29 年 7 月 5 日(水)

13:00～17:00

場 所：萱手第二ビル 5 階会議室

議題(主なもの)

**【審議事項】**

**1. 各種役員の選任について**

相談役・顧問・審議員、地域本部長、関東甲信地域県支部長の選任について審議し、全会一致で承認した。

(関係分)審議員：森 隆広

**2. 各種役員の委嘱について**

部会長、実行委員会委員長、常設委員・実行委員について審議し、全会一致で承認した。

(関係分)北海道本部長；森 隆広

(常設)総務委員；羽二生 望

青年技術士交流委員；仁田 智

(実行)防災支援委員；城戸 寛

**3. 技術士制度検討委員会について**

設置・運営規則の変更(委員定数 10 → 15)について審議し、承認された。

また、同委員会委員の委嘱について審議し、承認した。

**4. APEC エンジニア及び IPEA 審議委員会設置・運営の変更について**

表記規則の変更(委員対象者として、国際活動及び技術士 CPD に見識を持つ技術士会会員の追記)を審議し、承認した。

また、APEC エンジニア審査委員会、IPEA モニタリング委員会、IPEA 審査委員会のそれぞれの委員委嘱案を承認した。

**5. 入退会について**

入退会の申し出を審議し、承認した。

**2. 平成 29 年度技術士第二次試験申込状況について**

表記について状況報告があった。

**3. 科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について**

今後の技術士制度の在り方について(H28.12.22)を受けて日本技術士会では提言～中間報告～(H29.6.1)を取りまとめ、今後の委員会の進め方(案)について報告があった。

今後、月 1 回程度の議論を重ね、H31.2 頃を目途に最終案を取りまとめる。

主な論点は以下の通り。

- ・第一次試験の適正化(大括り化、出題内容等)
- ・技術士補の在り方
- ・総合技術監理部門の在り方
- ・継続研さん(CPD)の制度化、更新制導入
- ・普及拡大・活用促進
- ・国際的通用性

**4. 与党技術士議員連盟設立について**

山東昭子議員を会長とする与党技術士議員連盟が設立(H29.6.13)された旨、報告があった。

部会長出席全理事の賛成により高木茂知理事が会長に選定された。

**5. 緩やかな連携の推進について**

新たにマツダ技術士会が加わり、企業内技術士会 31 社、公務員技術士会 17 団体、出身大学技術士会 34 校、その他 1 団体となった旨、報告があった。

**6. 常設委員会報告について**

倫理委員会、総務委員会、企画委員会、研修委員会、広報委員会、社会委員会、国際委員会及び、個別規定による委員会として男女共同参画推進委員会活動報告があった。

**7. 平成 29 年度業務執行状況について**

本年 5 月末時点での業務執行状況について報告があった。

[以上]

**【報告事項】**

**1. 第 59 回定時総会開催結果について**

6 月 30 日午後 3 時～4 時 50 分に開催された定時総会議事について、予定した議案等すべて可決承認された旨、報告があった。